

文化庁・アートキャラバン事業

“連携”と“継続”が 文化芸術の新たな地平を拓く

2021年11月10日 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

文化庁「アートキャラバン事業」は、大規模公演型（166地域・約700公演）と地域連携型（28地域・184企画）からなり、実質的に1,000を超える公演が47都道府県（地域）の全てをカバーする、かつてない規模の支援スキームです。

この事業の特徴である、統括的団体を核に据えた「一括助成」は、コロナ禍で危機に瀕する文化芸術活動の再開を全国的に後押しするという、事業の目的達成に大きく寄与していますが、特筆すべきは、全国的な統括団体や地域の芸術団体と事業者の、重層的かつ立体的な連携という新たな経験を、全国規模で生み出したことです。

誰も体験したことがない、多岐にわたる分野・団体・地域の連携。困難な状況下における新たな出会いと挑戦、発想や知の共有、課題に立ち向かう連帯と協働は、確実にこれからの文化芸術の財産となります。

アートキャラバン事業は文化芸術支援スキームとして大きく貢献しています。ここで生まれた可能性をより広げ、文化芸術の基盤をより強固なものとするために、この画期的な支援事業が継続されることを強く望みます。

画期的な支援事業「アートキャラバン」が生む“連携”とその“継続”が
日本の文化芸術の新たな地平を拓きます



● 分野を超えた専門統括団体のネットワーク

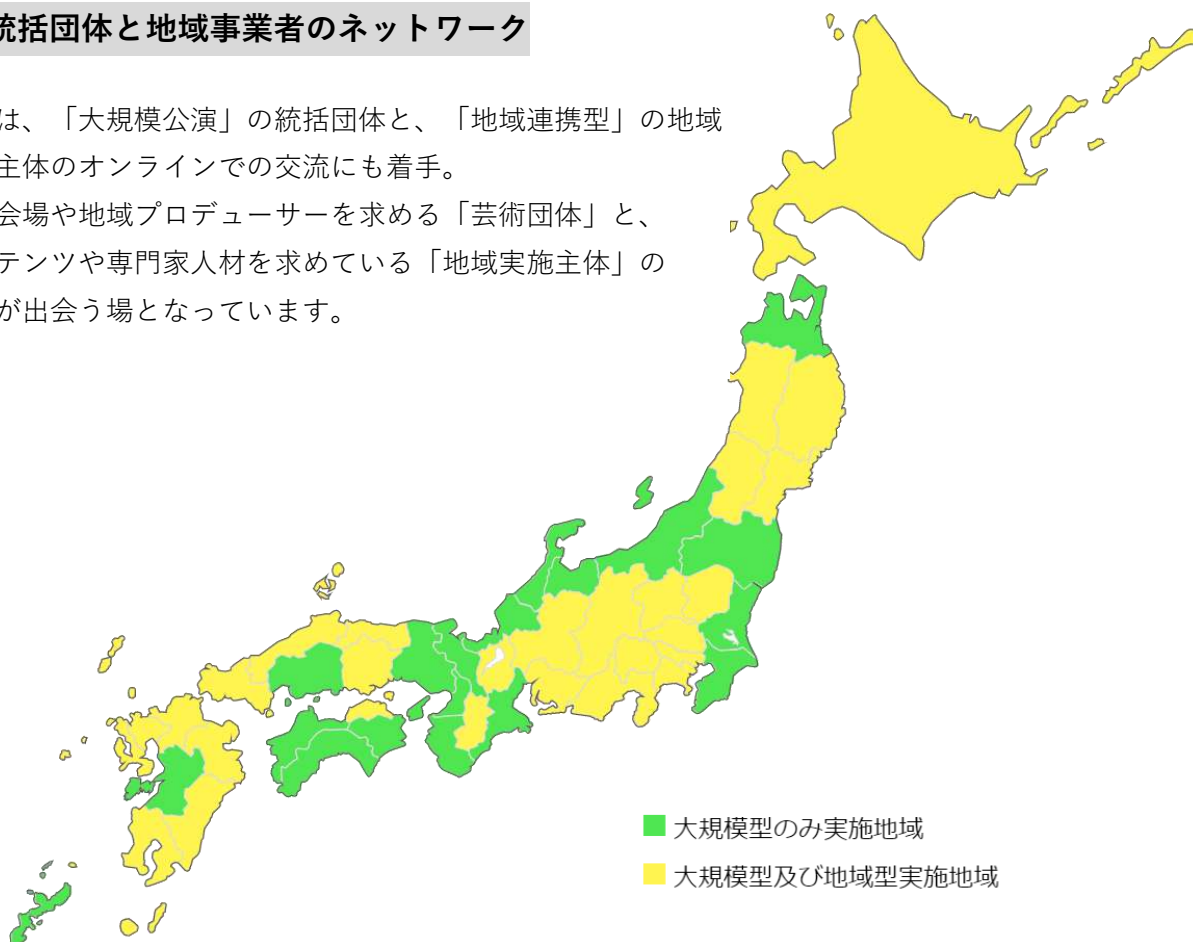
「大規模公演」を実施する分野別統括団体 10 団体と、「地域連携型」を実施する芸団協が連携し、分野を超えて情報共有を進めるほか、共同で広報を実施し、文化芸術復興と需要喚起に向けたアピールを行うなど、専門統括団体間の新たなネットワークが形成されています。

● 地域内事業者のネットワークと地域間ネットワーク

参加地域のオンライン会議を重ね、コロナ禍における各種対策や事業実施に関する知見の共有や、今後の課題と可能性についての議論など、有益な交流が行われています。地域の自治体・公立文化施設・民間事業者など多岐にわたる実施主体が全国的に交流する機会はこれまでほとんどなく、画期的なネットワークを生み出しています。

● 統括団体と地域事業者のネットワーク

更には、「大規模公演」の統括団体と、「地域連携型」の地域実施主体のオンラインでの交流にも着手。実施会場や地域プロデューサーを求める「芸術団体」と、コンテンツや専門家人材を求めている「地域実施主体」の両者が出会う場となっています。



「大規模公演型」と「地域連携型」で 1,000 公演
47 都道府県全てをカバー

統括 10 団体による「大規模公演型」事業

●これまで行けなかった地域へ

公演の規模が大きい分野は、会場要件や収益性などの面から開催できる場所が限られていました。本事業では、県庁所在地など主要都市以外の、これまで行くことができなかった地域でも開催が可能になり、今後の事業展開の可能性を拡げることに繋がりました。

●統括団体の機能強化

この事業を通じて、統括団体の存在意義が再認識され、個々の団体の機能強化と同時に、異なるジャンルの団体が協働していく意味と可能性を確認することができました。



●統括団体設立の足掛かりに

統括団体を持たなかった芸術ジャンルにおいて、この事業を機に、団体の設立を具体化する動きが生まれています。

芸団協が核となる全国 28 都道府県「地域連携型」事業

新型コロナウイルスの蔓延は、文化関連予算の削減や人材不足により衰退傾向にあった地域の文化環境に追い打ちをかけました。しかし、本事業をきっかけに、地域内における新たな連携が行われ、同時に、全国の開催地と繋がる機会も得られました。地域の文化芸術を牽引する人や組織との新たな出会いは、事業の再開を後押しするという本事業の目的を達成する他にも、多様な効果を生み出しています。



- “全国の同志”との繋がりがモチベーションの維持・向上の助けとなった
- 県単位での一括助成が事業者の視野を拡げ、地域連携をより広域的なものにした
- 行政、劇場・ホール、民間それぞれの強みを生かした効率的な分業体制を構築できた
- 文化振興の牽引役として、機動力・企画力を持つ民間事業者の力が発揮された
- 事業者や芸術団体の“アートマネジメント力”が多面的に底上げされる可能性が拡がった
- コロナ禍の制約が、地域における人材の発掘・育成の機運を醸成した
- 地域や団体が持つ課題が実は共通していることがわかり、共同解決の機運が生まれた

「大規模公演型」事業ラインナップ

統括 10 団体が広域的視野で全国展開

<p>① 2021 グランドオペラ フェスティバル in Japan</p>	<p>オペラキャラバン・ジャパン実行委員会（日本オペラ振興会/東京二期会/関西二期会/関西歌劇団）</p> <p>▶ 全国 9 会場 9 公演</p>
<p>② 音楽フェス再興アートキャラバン</p>	<p>日本音楽事業者協会/日本音楽制作者連盟/コンサートプロモーターズ協会</p> <p>▶ 全国大規模 8 公演</p>
<p>③ 公立文化施設再始動推進プロジェクト 「劇場に行こう～地域文化の復活に向けて～」</p>	<p>全国公立文化施設協会</p> <p>▶ 全国 131 公演</p>
<p>④ 「日本の演劇」未来プロジェクト</p>	<p>日本演劇興行協会</p> <p>▶ 全国 20 地域 31 作品 321 公演</p>
<p>⑤ オーケストラ・キャラバン ～オーケストラト心に響くひとときを～</p>	<p>日本オーケストラ連盟</p> <p>▶ 22 オーケストラ/全国 47 公演</p>
<p>⑥ クラシックキャラバン 2021 クラシック音楽が世界をつなぐ ～輝ける未来に向けて～ 華麗なるガラコンサート/動物の謝肉祭/兵士の物語</p>	<p>日本クラシック音楽事業協会</p> <p>▶ 全国 19 公演</p>
<p>⑦ 巡演ネットワーク普及拡大推進プロジェクト — 演劇を迎える喜びに支えられて</p>	<p>日本劇団協議会</p> <p>▶ 16 劇団 19 作品/全国 118 地域 324 公演</p>
<p>⑧ 「影絵劇フェスティバル」全国縦断公演</p>	<p>日本児童青少年演劇協会 (劇団かかし座/劇団角笛/劇団影法師)</p> <p>▶ 全国 36 公演</p>
<p>⑨ バレエで全国に希望を ～日本バレエ団連盟によるアートキャラバン事業～</p>	<p>日本バレエ団連盟</p> <p>▶ 7 バレエ団/全国 32 公演</p>
<p>⑩ 日本全国 能楽キャラバン！</p>	<p>能楽協会</p> <p>▶ 全国の能楽堂など 35 会場 71 公演</p>

「地域連携型」 = 『JAPAN LIVE YELL project』 事業ラインナップ

主催：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／28 都道府県の実施主体

開催地	[企画数]	
① 北海道	[9]	JAPAN LIVE YELL project IN HOKKAIDO
② 岩手県	[7]	アーツライブいわて 2021
③ 宮城県	[14]	アートキャラバンみやぎ
④ 秋田県	[5]	『ジャパン・ライブエール・プロジェクト in あきた』 vol.2
⑤ 山形県	[9]	やまがた文化の回廊フェスティバル Plus!
⑥ 群馬県	[6]	Art Live Yell G U N M A プロジェクト
⑦ 埼玉県	[11]	さいたまアート・フェスタ 2021
⑧ 神奈川県	[7]	JAPAN LIVE YELL project ワイドカナガワ
⑨ 東京都	[3]	TOKYO ART & LIVE CITY 2021
⑩ 山梨県	[3]	やまなしステージ・アート・プロジェクト 2021
⑪ 長野県	[3]	アートを創る街・Matsumoto
⑫ 岐阜県	[4]	飛騨・高山アートキャラバン事業
⑬ 静岡県	[4]	Shizuoka Feeling Arts Program
⑭ 愛知県	[4]	JAPAN LIVE YELL project @ AICHI
⑮ 滋賀県	[3]	海援隊トーク&ライブ BIWAKO ツアー2021-地域とともに…贈る言葉-
⑯ 奈良県	[1]	奈良県みんなでたのしむ大芸術祭
⑰ 鳥取県	[16]	鳥取・岡山共同プロジェクト「ライブで作ろう 元気と未来！」
⑱ 島根県	[9]	JAPAN LIVE YELL project 島根プログラム
⑲ 岡山県	[3]	ART CARAVAN OKAYAMA PROJECT
⑳ 山口県	[6]	元気やまぐち創造プロジェクト
㉑ 徳島県	[3]	徳島発 身体芸術の祭典～Tokushima Performing Arts Festival～
㉒ 香川県	[10]	施設連携アートキャラバン事業
㉓ 福岡県	[8]	JAPAN LIVE YELL project in ふくおか
㉔ 佐賀県	[3]	「くるみわり人形」を創る・踊る・観るプロジェクト 2021 実行委員会
㉕ 長崎県	[5]	ながさき「グリーン&ブルー」～オーケストラといっしょに～
㉖ 大分県	[14]	ライブ・フェスティバル in OITA
㉗ 宮崎県	[11]	11PM (Eleven Performances in Miyazaki)
㉘ 鹿児島県	[3]	Traditional Knowledge of "As one" KAGOSHIMA